

\* FDC 1

\* 本体の組み直し (中)

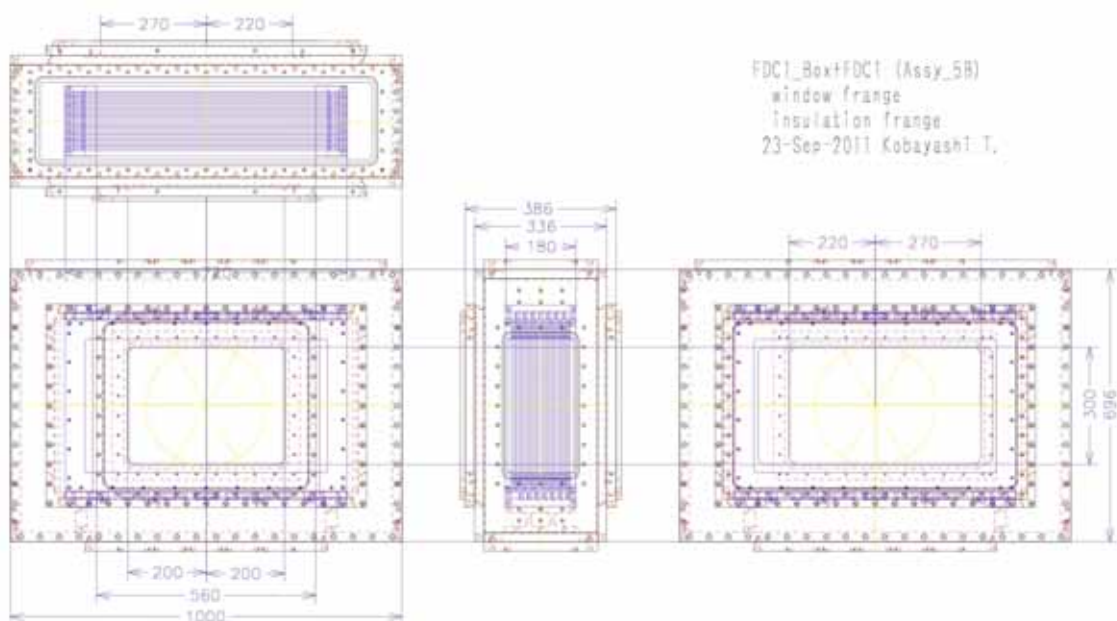
- \* 以前本体を組み立てた時、G10 基板間のずれが最大 0.3mm 程度あった。これは G10 基板製作精度に自身がなかった為 (ロックピンがきつ過ぎると組立たない事がよくある)、 $\phi 10.5$  穴に  $\phi 10$  ピンを使った為。
- \*  $\pm 0.1\text{mm}$  のロックピンが準備できたので、本体を分解して組立直す予定。外箱から本体を引き出す作業はクレーンのある理研で行いたかったが、K14 クレーンが他に使われていて、学校で自作の簡易ホイストを使い引き出した。
- \* 低圧動作の際、換算流量で 5-8L/min 程度を流したのでガスフォイルが心配だったが、20cc/min でもリターンがあり大丈夫のようだ。
- \* 次週に分解+再度組立の予定 (?)。

\* FDC 1 架台追加部品

- \* 9/30(Fri)に理研に納品予定

\* 真空窓フランジ/絶縁フランジ

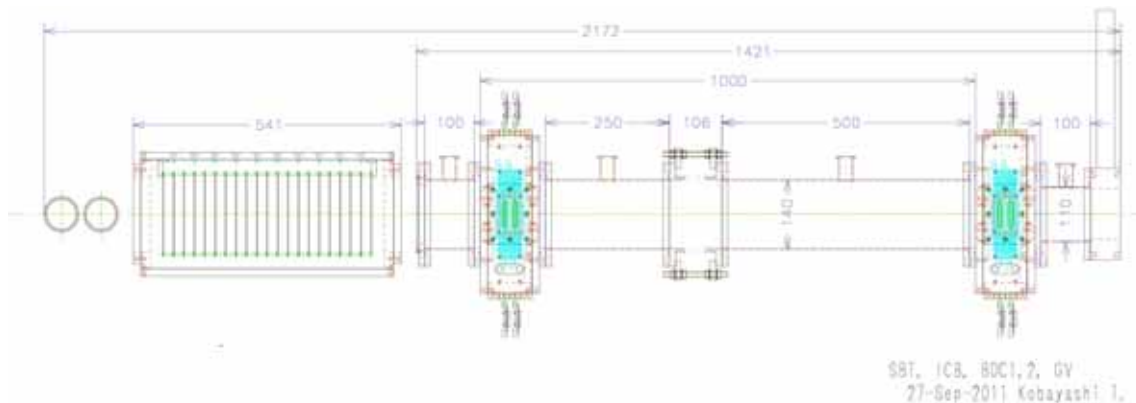
- \* 外箱上流/下流の真空膜フランジ/絶縁フランジを決定：清水さんと相談。
  - \* 上流側：  $\pm 200\text{mm}$  (H),  $\pm 150\text{mm}$  (V)
  - \* 下流側：  $+220\text{mm}-270\text{mm}$  (H),  $\pm 150\text{mm}$  (V)
- \* 見積中



\* FDC1 - GV 間の変換/ベローズフランジ

- \* ベローズを入れるとビーム軸方向にのみ 10mm 調整可能で、他の 2 方向は調整不可。250-300 万円との見積 (清水)。
- \* 位置は測量するという事で、ベローズは無しにする：清水、大津さんと相談。
- \* ベローズ無の場合の厚さ~90mm： 約 100mm 磁石側へよる。

- \* BDC1, BDC2, GV 付近
  - \* BDC2 下流の GV は DN100 とする：清水さんと相談
  - \* 周辺のビームパイプ：
    - \* OD140。アルミ製／アルミ溶接方式で見積中。
    - \* 最下流（BDC2-GV）以外は高真空を必要としないので、アルミ溶接が高価の場合はスポット溶接+接着剤方式にする。
    - \* BDC1-BDC2 間隔は、1000mm, 850mm, 500mm 等ができるようにビームパイプ長を選ぶ。現在は 1000mm。
  - \* 真空引口： NW25。
  - \* BDC1, BDC2 間の調整用ベローズ(IF125)： 相談中。
  - \* 回転方向自由度の吸収に若干問題が残る： 長穴(?)



- \* HODF/HODP
  - \* 不足／不良部品の手配
  - \* まだクレーン移動方式の良いアイデア無し。
- \* ICF 架台（千賀）
  - \* 設計がだいたい終了
    - \* ガイドレールは使わない。
    - \* 床に固定したアングルをガイドにしてビーム垂直方向の位置を移動
    - \* 精密な位置調整は考えない
- \* PDC
  - \* 来週、工場で組立予定
- \* FDC2
  - \* FDC2 架台の追加部品： 9/30 納品
  - \* 本体：
    - \* 遅々として進まず(林栄)。まだガス漏対策。
    - \* あと1ヶ月くらいで引き渡されないと後の予定がきつい。
- \* Beam MWPC
  - \* 手持ちの外箱で低圧 1mm MWPC を試験する為のフランジを設計。 見積中。
- \* Proposal
  - \* Soft Dipole Resonance in Ca/Ni Region： 来週末 Ver1 準備目標。